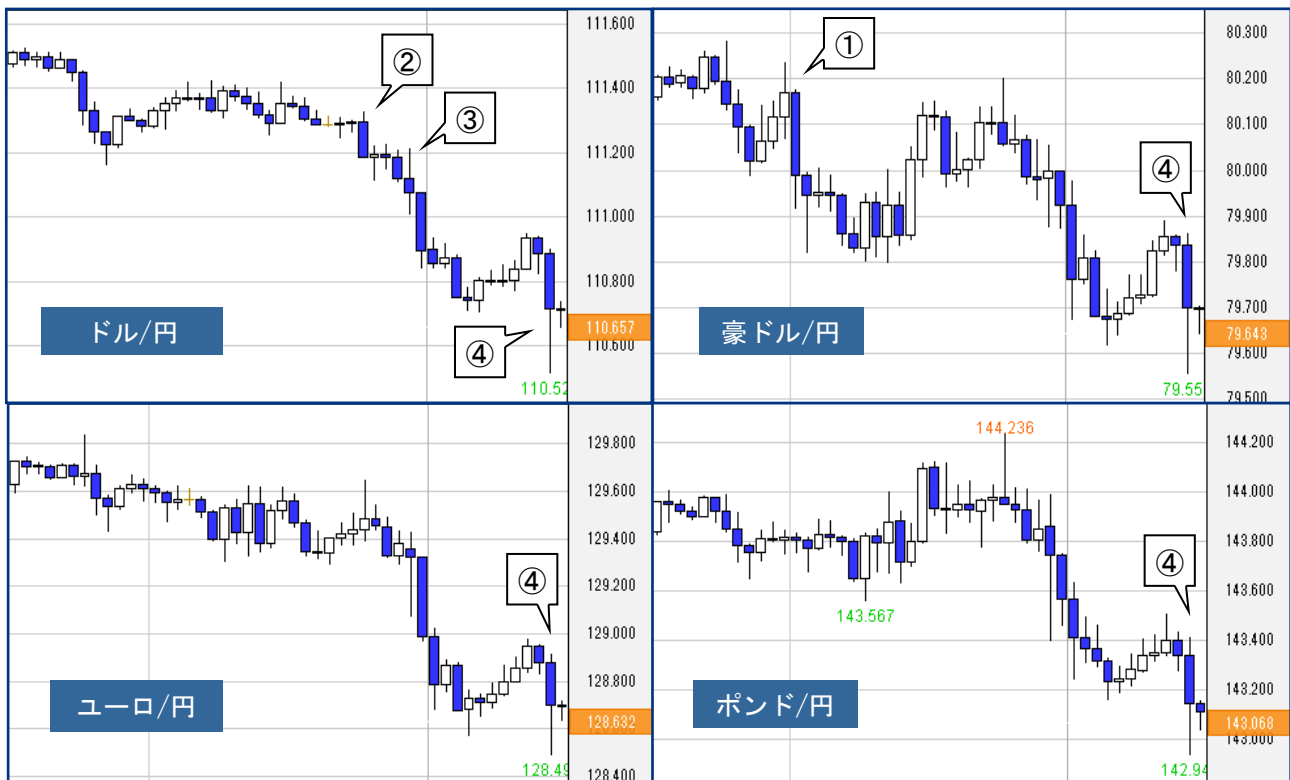


9月7日(金曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## 日米貿易摩擦はドル安要因か？

### 6日(木)の為替相場



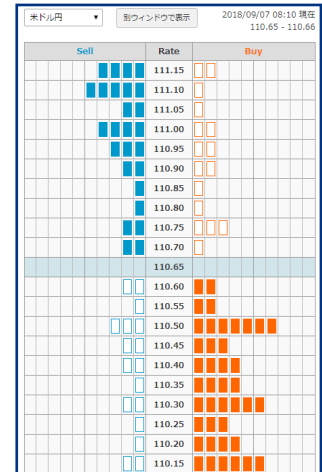
期間 6日(木)午前6時10分～7日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所:外為どっとコム

- ① 豪7月貿易収支は15.51億豪ドルの黒字と予想(14.50億豪ドルの黒字)を上回ると豪ドル/円が小幅に値を上げた。しかしその後、豪州大手銀行のオーストラリア・ニュージーランド銀行(ANZ)が住宅ローンの変動金利を引き上げると発表。29日のウエストパックに続く金利の引き上げに対し、市場で豪中銀(RBA)が低金利を維持する期間がさらに長期化する(利上げをする必要性が薄れる)との思惑が再浮上すると豪ドルが反落した。
- ② 米8月ADP全国雇用者数は16.3万人増と市場予想(20.0万人増)を下回り、前日値も21.9万人増から21.7万人増へ下方修正された。その後に発表された米新規失業保険申請件数は20.3万件と前回から横ばいとの予想(21.3万件)を大きく下回り、1969年12月以来、約49年ぶりの低水準を記録した。
- ③ 米8月ISM非製造業景況指数は58.5と予想(56.8)を上回り前日値(55.7)から上昇。内訳の雇用指数も56.7と前日値(56.1)から上昇し、7カ月ぶりの高水準となった。その後、ウィリアムズNY連銀総裁が講演で、「米経済は非常に良い」「利上げを加速させる必要性は感じない」「インフレ圧力は見られない」などと発言したことが伝わった。
- ④ NY市場終盤に米メディアが「トランプ米大統領は次に日本との貿易戦争になることを示唆した」と報道したことが伝わると、ドル/円が110.50円台まで下落して2週間ぶりの安値を付けたほか、クロス円にも下落圧力がかった。

6日(木)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22487.94 ▼92.89	6160.420 ▼70.027	2691.593 ▼12.744	7318.96 ▼64.32	11955.25 ▼85.21
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25995.87 △20.88	0.1110% ▼0.0040	2.565% △0.013	1.416% ▼0.026	0.355% ▼0.025
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.6330% ▼0.0163	2.8731% ▼0.0291	67.77 ▼0.95	1204.30 △3.00	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.100-111.100	127.700-129.100	79.000-80.000	142.100-143.500

【ドル/円】

昨日のドル/円は、110.50円台まで反落して2週間ぶりの安値を付けた。トランプ米大統領が、対日貿易問題を検討する可能性を明らかにしたとのテレビ報道が重しとなった。本日は、米8月雇用統計の発表を控えているが、市場の関心は米国の雇用情勢ではなく世界の貿易問題や新興国問題に向かっている。このため、雇用統計に対する市場の反応は限られる可能性がある。ドル/円は、日足一目均衡表の雲下限や100日移動平均線が走る110.50円前後のサポート力が試される展開となりそうだ。もし、割り込めば、52週移動平均線が位置する110.30円台が次の下値ポイントとなる。

もっとも、トランプ米政権の「アメリカファースト」は本質的にドル高政策だ。米中間の貿易戦争激化はドル高・人民元安要因であり、米加間の北米自由貿易協定(NAFTA)再交渉難航はドル高・カナダドル安材料とされる。「安全資産」という円の特長性を割り引いても、日米間の貿易摩擦への懸念が大幅なドル安・円高を招くと考えるのは合理的とは言えないだろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
9/7(金)	10:30		(豪) 7月住宅ローン件数(前月比)	-1.1%	-0.1%
	15:00		(独) 7月貿易収支	+218億EUR	+195億EUR
	15:00		(独) 7月経常収支	+262億EUR	+200億EUR
	15:00		(独) 7月鉱工業生産(前月比)	-0.9%	+0.2%
	18:00		(ユーロ圏) 4-6月期GDP・確定値(前年比)	+2.2%	+2.2%
	21:30	◎	(米) 8月非農業部門雇用者数(前月比)	+15.7万人	+19.1万人
	21:30	◎	(米) 8月失業率	3.9%	3.8%
	21:30	◎	(米) 8月平均時給(前月比)	+0.3%	+0.2%
	21:30	◎	(米) 8月平均時給(前年比)	+2.7%	+2.7%
	21:30		(米) ローゼングレイン・ボストン連銀総裁、講演	-	-
	22:00		(米) メスター・クリーブランド連銀総裁、講演	-	-
	25:45		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。